

豊橋公園図鑑 2019 No.3 NPO法人東三河自然観察会

久しぶりに沖野の田んぼへ生きもの観察！！

スワミリニコウガイ (ニヤニボタニシ)

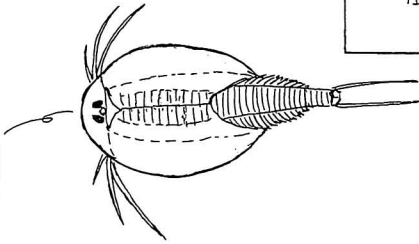
卵と採山
見られるよ!
とんぼ卵をろう



南アメリカ原産。1981年に、台湾から
長崎県、和歌山県に食用として
持ちこまれたものが、野生化。
イネを食害する。要注意外来生物。
「世界の侵略的外来種ワースト100」
の1つだそうです。
*寄生虫を持つことがあるので生食は×

カアトエビ

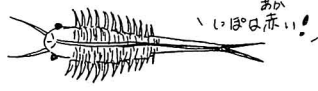
荷と!!
目はあるよ!



田んぼに水が入った後、現れる。
カアトガニとはちがう仲間。
日本には、
（アメリカカアトエビ
アジアカアトエビ
ヨーロッパカアトエビ
の3種類がいる。
雑食です。

ホウネンエビ

別名は
田金魚



緑色の体に赤いしほが自立つ生き物
このエビが虫田んぼはお米が豊作に
なると言われている。
カアトエビと同じく、農薬が少ぬい田ん
ぼによく見られる。植物プランクトンを食べる。

田んぼを観察する時は...

- なるべく畔に入るのは控えましょう。畔がこわれると、農家の音が困ります。
- カアトエビやホウネンエビは長くは生きられません。たくさん採取しても
すぐ死んでしまう事。この時期、次の子虫を残すために田んぼで生きている
事など、彼らのここの生活についても思いを巡らせてみて下さい...

